

協粧都 平成27年新年祝賀会を開催

寺澤理事長「知恵を出し合い、経営に役立つ企画を推進」

東京化粧品化粧品小売協同組合（以下、都粧協）は1月15日、業界関係者など約200名を招き、都内のホテルで新年祝賀会を開催した。祝賀会では、寺澤成幸理事長が主催者を代表して挨拶した後、業界団体や制度品メーカーのトップが祝辞を述べた。

寺澤理事長は冒頭の挨拶で、「最近では、iP明るく商売繁盛となってS細胞の研究が進み、新しい美しさに対しての期待感が高まっている。また、昨年末には、小惑星探査機『はやぶさ2』が打ち上げられた。小惑星の岩石を持ち帰り、太陽系や生命の起源に迫るべく6年をかけて往復52億キロを旅して、東京五輪が行われる2020年の暮れに帰還する予定だ。その時の化粧品化粧品業界がどのような形になっ

業界団体・メーカーのトップが勢揃いし、今年の飛躍を誓う

の声に耳を傾けていくことで、様々な経営に役立つ企画を進めていきたい」と語った。

続いて、来賓を代表して日本化粧品工業連合会（以下、粧工連）の小林一俊会長（コーセー社長）や制度品・化粧品メーカーのトップらが祝辞を述べた。

小林一俊粧工連会長

ものの、下期に入り増税消費増税後の駆け込み需要の反動からの回復がやってくる。ただ、ますます厳しくなる家計において他の消費財も含めた厳しい比較にさらされることから、化粧品業界の中でも優勝劣敗の傾向は強まるが出てきている。経産省の2014年4～10月までの出荷実績をみると、数量で3・5%増、金額では増減なしということであるがダウンしている



寺澤理事長

の2014年4～10月までの出荷実績をみると、数量で3・5%増、金額では増減なしということであるがダウンしている



小林会長

魚谷雅彦資生堂社長／当社は美しさを提供する企業として、142年の



魚谷社長



夏坂社長



熊田専務

歴史に甘んじることなく、これから100年先までどう取り組んでいくのかという視点で、いろいろ社内議論をし、昨年末に「VISION 2020」をまとめた。専門店の皆さんと新たなスタートを切るべく、現実を直視し、今までの問題点にしっかりと解決策を提示して、スピード重視でひるむことなく取り組んでいく。

夏坂眞澄力ネオウ化粧品社長／お客様はかつてないほど化粧品の情報を得ており、イメージ的には大変優しいものの、耐える年だと言われている。そういう中で、耐えてはかたいては、なかなか販売に結びつかない。過去の成功体験や価値観がそのまま活かせることはあり得ないため、当社としては、数年前からお客様に近づいていく、お客様の变化に敏感になっていくことを通じて、商品や販促につなげていく活動を推進してきた。今年はそれをより進化させ、明るい年にしていく。

熊田篤男コーセー化粧品販売専務／今年は未年であり、イメージ的には大変優しいものの、耐える年だと言われている。そういう中で、耐えてはかたいては、なかなか販売に結びつかない。過去の成功体験や価値観がそのまま活かせることはあり得ないため、当社としては、数年前からお客様に近づいていく、お客様の变化に敏感になっていくことを通じて、商品や販促につなげていく活動を推進してきた。今年はそれをより進化させ、明るい年にしていく。



小林社長



牛山社長



早川社長

記者の窓

化粧品専門店を取材しているといつも店主の思いに胸を打たれる。「元気がないお客が店を出る時には笑顔を取り戻しているようにしたい」「自分の美しさに気づいてほしい」「感動を与えたい」など、高年齢化に悩み、新客・フリー客の獲得難による売上低迷にあえいでいる。対面販売を重視するがゆえに「専門店

起死回生のチャンスはある

で、多くの店がお客様の声を生み出している。化粧品専門店の魅力はなかなか若い人には知られない。それならば、店側が窓口となり、そこから挑戦してみよう。 (中)

しかし、こうした思いとは裏腹に、実際はドラッグストアや通販に押され、専門店形態での化粧品販売は苦境に立たされている状況

を生み出している。化粧品専門店の魅力はなかなか若い人には知られない。それならば、店側が窓口となり、そこから挑戦してみよう。 (中)

小林章一アルビオン社長／お客様一人ひとりの身近な問題としてクローズアップされてくる。美容と健康を通じて社会のお役に立てるよう、世の女性がいつまでも現役で活躍できるようサポートしていく。

早川謹之助エトワール海渡社長／昨年は、インバウンドの盛り上がり客の喜び・満足を追求していくことで、専門店の皆さんにとってのマイブームとなった。当社でも、日本のモノづくりに焦点をあてた展示会「F OUND JAPAN」を実施したが、海外のパ